

原案に対するパブコメ意見とりまとめ一覧 (R3.4/1 ~ 4/28パブコメ分)

頁	項目	ご意見	対応
1	1-1 全国の状況	本文中に「空き家」という言葉と「空き家等」という言葉が出てきますが、定義が無いので、分かりづらいため、定義等を記載して分かりやすくした方が良いと思う。	○本計画を読み進めて行くにあたり語句の使い分けに混乱が生じてしまわぬよう、定義などの用語説明を記載します。
4	図5 空き家率とその他の住宅率のバランス	パッと見に分かりづらいので、図4と同様に図表の説明を記載した方が良いと思う。	○図5の解説文を追記します。
9	1-4 空き家数の今後の見込み	<p>空き家の発生原因については、死亡や住替えのほかにも、宅地開発や建築によって、空き家が増える点は理解ができました。しかし、このペースでいくと空き家率が10年後には15.6%になるとのことですが、その根拠が分かりません。図14も同様です。</p> <p>シミュレーション自体は良いが、途中の解説も加えて分かりやすくすべきと思う。</p>	<p>○この項目は目標設定へ直結する重要な内容となりますので、できるだけ分かりやすい説明になるよう修正します。また、本町の空き家は、住宅土地統計調査の分類の「その他の住宅」に該当し、その数が「空き家数の今後の見込み」として分かるよう図表13及び図表14の内容を見直し、項目立てなどの工夫もしながら分かりやすい表記になるよう修正します。</p> <p>○併せて10頁の内容についても、空き家の増加を抑制するためには、開発行為等による敷地の細分化を抑制し、空き家率の母数となる住宅数を減らさないと、空き家は減らないとの考え方を参考的に示したものでありましたが、空き家対策の本来目的とは相違し、紛らわしくなることから本参考項目は削除します。</p>

14	「2-4 目標値」 成果目標の「住宅土地統計調査の空き家率」	成果目標の2つの目標値の数値の設定根拠が、解説等がないため分かりません。	○原案で行ったシミュレーションは、除却や利活用などの対策を促進した場合や、新築数を抑制した場合を想定して導いた値でしたが、本町の空き家は、住宅土地統計調査の「その他の住宅」の分類に該当することから、その数が「空き家数の今後の見込み」として分かるよう9頁の空家数の今後の見込みを見直すとともに、目標値の設定も合わせて修正します。
15	2-6 運用の対象範囲など 2-7 空き家を活用したまちづくりビジョンのイメージ	2-7の項目は何を意図しているのか分かりにくく、2-6の対象範囲と内容が重複しているのではないのでしょうか？	○2-7は、「大磯町まちづくり基本計画」を意図し表題を設定して掲げた項目となりますが、2-6の対象範囲と重複している内容となることから、この二つの項目を統合して、内容を整理します。
22	3-1-11 空き家に関する情報のデータベース化 3-1-12 民間空き家情報の活用 図 19 民間連携型空き家マネジメント	3-1-11のデータベース化は、必要性なども含め分かりやすい説明が必要と思う。 また、3-1-12の活用もデータベース化とつながる内容と思われるが、最終的な活用方法などが分かりにくいので、少し説明が必要と思った。 あと、図 19 は説明が何もないので本項との関連性が不明です。	○指摘内容を踏まえ内容を整理します。 また、図 19 は、今までの相談や苦情の待ち受け型の対応から、データベース化による空き家の実態把握をすることにより、空き家所有者へプッシュ型のサービスを展開していくことを説明したものでしたが、図を掲載することでかえって分かりにくくなる点もあることから、下の4行の文書とともに削除します。なお、図 19 のスキームは、17頁の3-1-1の空き家相談の流れのとおりです。
			貴重なご意見ありがとうございました。 1名 6件のご意見